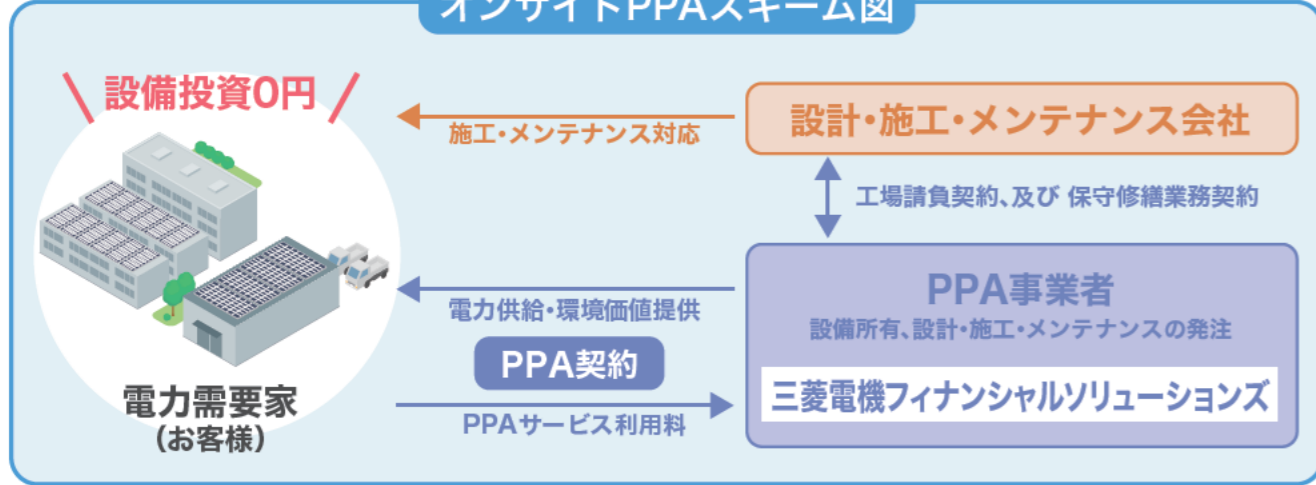


CO<sub>2</sub> 排出量を長期にわたって削減しながら、  
電力コストを平準化できます。



## オンサイトPPAスキーム図



## PPAの仕組みとメリット

- 1 お客様(電力需要家)の初期投資は不要です。
- 2 太陽光発電設備の建設・運転・保守はPPA事業者(当社)が担います。
- 3 契約期間(20年間等)を通じて一定の単価で電力をご購入いただけます。
- 4 環境価値はお客様に帰属。CO<sub>2</sub>排出量削減は、企業価値向上に繋がります。



## こんなお客様がPPAサービスに向いています！

- 1 電気を多く使っている
  - ・日中の電気使用量が多い
  - ・土日祝日も稼働、または交代制で常時稼働
  - ・冷凍冷蔵設備やクリーンルームなどで常時電力を使う
- 2 施設屋根(または遊休地)の面積が広い
  - ・2000m<sup>2</sup>以上、200kW以上が好適
- 3 モジュール設置予定の建物が一定の高さ以下で新耐震基準を満たしている
  - ※高さが高くなると、風速や施工時の安全確保の面から設置が困難
  - ※1981年以前の建物は旧耐震基準のため設置不可
- 4 設置予定の建物がハゼ式折板屋根
  - ※工場や冷蔵・冷凍倉庫が向いている
  - ※陸屋根や大波スレートの場合、コストが高くなりがち

三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社

営業本部 営業統括部 (03) 5496-9259  
ソリューション営業部 (03) 5496-5664

### ●お問い合わせは

東京支店 ソリューション営業推進部…… (03) 5496-4020  
関西支店 ソリューション営業推進部…… (06) 6345-1800  
中部支店 ソリューション営業推進部…… (052) 968-3419  
北海道支店 …………… (011) 233-2511  
東北支店 …………… (022) 216-4671

北陸営業部…… (076) 261-3091  
四国営業部…… (087) 822-2200  
中国支店…… (082) 546-1071  
九州支店…… (092) 721-2330

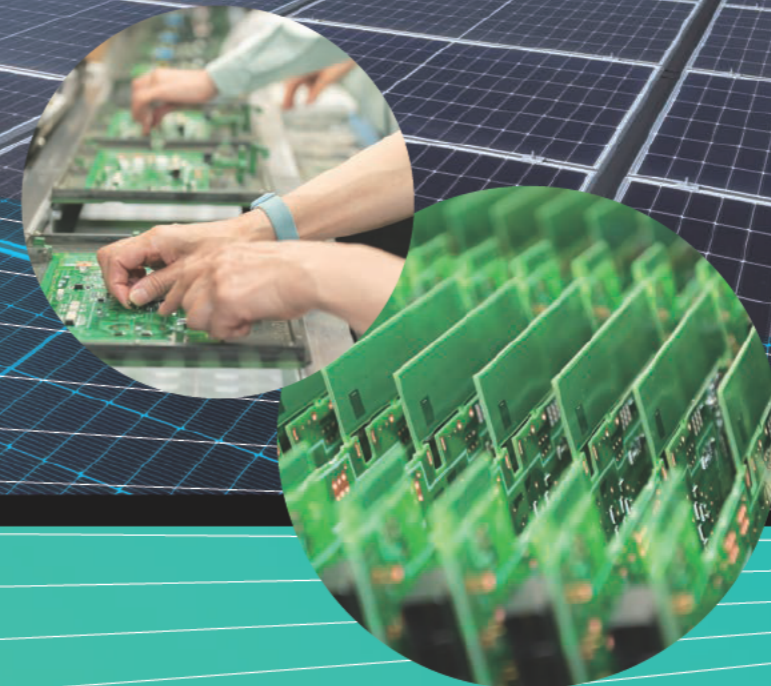


◀ 当社のHPも  
ご覧ください。

カーボンニュートラルで  
地域社会に貢献。



Renewable Energy



# 地域社会への貢献をめざして

# PPA方式で太陽光発電を導入しました。

PPAは、お客様が発電設備を設置・保有することなく、再生可能エネルギーを利用できる手法です。お客様の施設屋上や敷地内に、PPA事業者が太陽光発電システムを設置して、発電した電気を供給します。今回は愛知県常滑市で電子制御機器を製造されている、京才電機製作所様の事例をご紹介します。



2024年3月竣工の新棟と既設棟の屋根面積を有効活用し、電力需要のシミュレーション結果に応じた適正枚数の太陽電池モジュールを設置しています。



直流を交流に変えるパワーコンディショナ(PCS:写真上)と電圧調整のための変圧器は、新棟と既設棟にそれぞれ設置。人が不注意に近づいたり車両が基礎に乗り上げたりしないための工夫も施しました。



発電量がリアルタイムでわかるモニターを、会議室や社員ラウンジがある空間に配置。社員の皆さんの意識向上やお客様へのアピールにも役立っています。



## 設計施工者

### お客様の操業・稼働を妨げないことに注力。

設計にあたって苦心したのはトランスとパワーコンディショナの設置スペースでした。新棟立上げの計画の段階から現地調査や検討を重ねた結果、人や車両の通行の妨げにならない絶妙な位置に最小スペースでまとめることができました。世界的な半導体不足の影響により期間を要する機器もありましたが、三菱電機グループの総力を結集し、短納期化を実現。停電を伴う工事をお客様の指定日に合わせて行うことができ、新棟立上げにあわせた機器の設置ができました。



三菱電機システムサービス株式会社  
商品部フィールドエンジニアリング課 川村 貴之 様

## PPAをきっかけに環境計画を具現化。

地域社会への貢献が、当社企業理念の一つです。その方策として、ものづくりを通じた地域経済発展や雇用創出と並んで、サステナブルな経営にも力を入れております。今回のPPAの導入をきっかけに、CO<sub>2</sub>排出量の削減目標を前(2023)年度比15%以上と定める環境計画も策定いたしました。稼働開始した2024年8月には約10トンのCO<sub>2</sub>排出量削減に成功し、目標として定めた15%削減を達成しました。夏期休暇で稼働日数が少なかった8月でもこの結果でしたので、今後はさらに削減量が増えるものと予測しています。

### PPA導入を決めたポイント

**初期投資0円**  
発電設備への初期投資はPPA事業者が負担

**サポート体制の充実**  
発電設備のメンテナンスはPPA事業者が実施

**電気代単価が20年一定**  
電気代の上昇リスクが回避できる

昨今の電気代高騰は、経営者にとって深刻な課題です。CO<sub>2</sub>排出量削減が太陽光発電の主目的とはいえ、電気代単価が20年間変動しないことはPPA方式ならではの魅力です。

## PPA事業者

### CO<sub>2</sub>削減に加え、安定経営にも貢献。

太陽光発電を自社で所有するには大きな初期投資が必要です。京才電機製作所様の太陽光発電導入にあたり、この問題を回避するための選択肢の一つとして、PPA方式をご提案しました。初期投資とメンテナンス費用が不要であることに加え、PPAなら電気代単価の上昇リスクを回避することができ、厳密なコスト計算が求められる製造業の安定経営にも貢献できます。契約期間が20年という長期間にわたるため、PPA事業者の選択は慎重にならざるを得ませんが、長年の経営実績がある三菱電機グループの一員であることもご評価いただき、弊社提案をご採用いただきました。

## オンサイト PPA Power Purchase Agreement

●ご採用事例  
株式会社 京才電機製作所 様



お客様



株式会社 京才電機製作所 代表取締役 星子 幸英 様

## カーボンニュートラルをビジネスの強みにも。

一方で、今後20年にわたって発電性能を維持するには、適切な保守管理が不可欠です。この点は、三菱電機フィナンシャルソリューションズさんがしっかりとサポートしてくださるので心配もしていません。今後は、製造業として一層の、CO<sub>2</sub>排出量削減に取り組み、カーボンニュートラルの実現を目指していきます。カーボンニュートラルは社会的意義が大きだけでなく、生産を受託するお客様企業のサステナブル経営にも貢献できるメリットがあります。その第一歩となったPPA導入は、ビジネスの拡大に繋がる取組みという面でも大いに期待しています。



三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社  
ソリューション営業部  
ソリューション第一営業課 飯川 直之 さん